

第62回 東ヨーロッパ世界

1 スラヴ人について

・()は、()の北方を現住地として現在の東ヨーロッパに多く住む民族であり、大きく西・南・東スラヴの3つに分けられる。

<西スラヴ人> ※多くが()を受け入れた。

- ・()は、カジミェシュ大王のもとで繁栄した。
→14世紀、ドイツ騎士団に対抗して()と合併した。



カジミェシュ大王
ポーランドの英雄。都に
クラクフ大学を設立した。

☆リトアニア=ポーランド王国() (1386~1572年)

- ・ドイツ騎士団を破り、ポーランド最盛期の王朝となった。

- ・()は、9世紀にモラヴィア王国、10世紀に()
を建国したが、11世紀には神聖ローマ帝国に編入された。
- ・スロヴァキア人は、チェック人に近い民族でありマジャール人の支配を受けた。

<南スラヴ人> ※()に多く住む。

- ・()は、ギリシア正教を受け入れてセルビア王国を建国した。
→14世紀、オスマン帝国にコソヴォの戦いで敗れて併合された。
- ・()とスロヴェニア人は、ローマ=カトリックを受け入れた。

- ・トルコ系の()は、7世紀に()を建国した。
→ギリシア正教を受け入れて、スラヴ人と同化していった。
→ビザンツ帝国に併合され、独立したが14世紀にオスマン帝国に併合された。

<東スラヴ人>

- ・()、()、ベラルーシ人などが中心。
→スウェーデン系ノルマン人が9世紀に侵入して、()や
()を建国した後、スラヴ人と同化した。



リューリク
ノヴゴロド国の建国
者。第56回に登場。

<その他の民族>

- ・ラテン系の()はダキアにワラキアとモルダヴィアを建国した。
- ・ウラル語系の()は、9世紀にパンノニアに定住した。
→10世紀にヨーロッパに侵入するが、955年に東フランク王国の
()にレヒフェルトの戦いで敗れた。
→ローマ=カトリックを受け入れて()を建国した。
→1526年、モハーチの戦いでオスマン帝国に敗れ、事実上消滅した。



マーチャーシュ1世
15世紀のハンガリー最
盛期の王。めちゃくちゃ
優秀な王だが、入試に
は全く出ない…。

2 ギリシア正教会の布教

- ローマ教会（カトリック）と対立していたコンスタンティノーブル教会（ギリシア正教会）は、スラヴ人に対して積極的な布教を行っていた。

◆（ ）（在位 980 年ころ～1015 年）

- 989 年、キエフ公国のウラディミル 1 世はビザンツ帝国の皇女と結婚し、ギリシア正教を受け入れた。
→進んだビザンツ文化がロシア地域に流入した。
→ロシア地域は、西欧とは別の文化圏となっていた。



ウラディミル1世

キエフ公国は、彼の時代に最盛期をむかえた。キリスト教徒になる前は、数百人を超える愛人がいたらしい。



キエフのハギア=ソフィア聖堂

ビザンツ帝国の協力によって、1037 年に建設された。同じ名前の聖堂が、コンスタンティノーブルにあることに注目。

11世紀の東ヨーロッパ



- 正教会の宣教師キュリロスは、ギリシア文字をもとに作ったグラゴール文字を、スラヴ人の間で普及させた。
→この文字から（ ）が発展し、現在もロシアなどで使われている。

3 モンゴルの侵入

- その後ロシア地域では農民の農奴化と貴族の大土地所有が進み、国内は分裂した。
- 13 世紀、モンゴル帝国の（ ）によるヨーロッパ遠征が行われた。
→1241 年、（ ）でドイツとポーランド連合軍が大敗した。



バトゥ

チンギス=ハンの孫にあたる。優れた軍事力で広大な地域を征服した。敵には容赦なかったが、部下には優しくした。

☆（ ）（1243～1502 年）

◆バトゥ（在位 1243～1256 年）

- ヨーロッパ遠征を行い、1243 年、ロシアにキプチャク=ハン国を建国した。
※このモンゴル人による支配を、「
」と呼んでいる。

☆（ ）（1325 年ころ～16 世紀）

◆（ ）（在位 1462～1505 年）

- 1480 年、キプチャク=ハン国から完全に独立し、モンゴルの支配から脱した。
- ビザンツ帝国の皇女ソフィアと結婚していたことから、（ ）を自称し、孫のイヴァン 4 世の時代には公式に使用した。



ワールシュタットの戦い

ワールシュタットとは、ドイツ語で「死体の山」という意味。地名をとって、リーグニッツの戦いとも呼ばれる。左のモンゴル兵が、戦死したポーランド王の首を槍に刺して、城を攻めている。



イヴァン3世

妻ソフィアは、ビザンツ帝国最後の皇帝の姪であった。そのため 1453 年のビザンツ帝国滅亡後は、ビザンツ皇帝の後継者を自称した。第 101 回へと続く。



聖ヴァーシリー聖堂

ビザンツ帝国が滅亡したため、ギリシア正教会の中心地は、ロシア正教会があるモスクワへと移った。モスクワは「第3のローマ」といわれた。